

小中一貫教育だより

【令和7年度 第2号】

加東市教育委員会

小中一貫教育推進室

E-mail shochu-ikkan@city.kato.lg.jp

令和7年4月18日発行

東条学園 令和7年度 第1回 学校運営協議会 開催

4月4日（金）に東条学園令和7年度第1回学校運営協議会が開催されました。柴崎謙介校長は、学校経営方針説明の中で、以下の3点を中心に述べられました。

（1）4・3・2制は3回のリーダー機会

今までの6・3制では、小学6年生、中学3年生の2回リーダーが経験できたが、4・3・2制では、4年生、7年生、9年生の3回リーダーになる機会がある。



（2）「地域に開かれた学校づくり」の推進

自治的なPTCA活動を中心とした保護者、地域、学校の3者で協働する「地域に開かれた学校づくり」を行う。

【地域学校協働本部が手掛けた花文字】

（3）「平和学習」の取り組み

6年生では広島校外学習を、9年生では沖縄修学旅行を行い、平和について児童生徒が主体的に学習する予定である。また、夏休みに平和登校日を設定し、各学年で平和学習を展開する。

また、「学習に関して、東条学園生に期待すること」として、グループ協議を行いました。

主な意見は以下の通りです。

- 実体験が減ってきているので、学校の授業で確保してほしい。
- 外遊びをすることで、自分の身を守る術を学んでほしい。
- 知識を活用して、人間関係作りを構築してほしい。
- 東条では地域の人との交流があり、コミュニケーション能力が向上できる。



【熱心に議論する委員】

東条学園学校運営協議会発足当時から顧問としてアドバイス頂いている兵庫教育大学 浅野良一名誉教授は、東条地域の特色を以下のように述べられました。

- ① 地域学校協働本部の活動が定着し、PTCAがしっかりしている。
- ② 教科担任制を取り入れ、4・3・2制のカリキュラムがしっかりしている。
- ③ 多くの大人から学ぶ機会があり、子どもたちの学びを支えており、地域の支えが大きい。

開校5年目を迎える東条学園の取組も発展しています。

